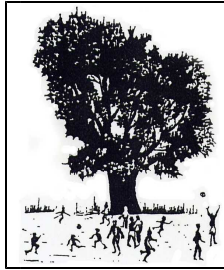


上野原市立
上野原小学校
平成27年度
第9号
発行者
校長 近藤周利

上小っ子



一月は行く
二月は逃げる
三月は去る

一月十二日に三学期が始まり、気がつくとも二月がすぐそこまで来ています。本当に三学期は早いですね。

さて、平成二十八年はどんな年にしますか。一ヶ月たつて、計画通りできていますか。また、決めた約束は守れていますか。

「一月は行く」「二月は逃げる」「三月は去る」と言われるほど早く過ぎてしまいます。新しい学年に向けて、しっかりと準備をすすめてほしいと思います。

今年も上野原小は「楽しい学校」を目標にしています。保護者の皆様、地域の皆様のご支援をよろしくお願いします。

新しい先生を紹介します

三学期より勤務しております先生方を紹介します。

飯田弓子先生

育児のためのお休みを取られていました。けやき一組を担当していただきます。

小関亜美先生

昨年度もご勤務いただきました。三・四年の図工を担当していただきます。

かがやけ
にっちゃんプロジェクト

この取り組みは、児童会の取り組みです。「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」をご存じですか。

「ふわふわ言葉」とは、言われると心が嬉しくなるような言葉のことで、「チクチク言葉」とは、言われると心が痛くなったり、心が暗くなったりするような言葉のことです。最近ではテレビなどの影響で「バカ」「うざい」「きもい」などのチクチク言葉が学校でも飛び交っています。



にっちゃんプロジェクトでは、写真のように、丸く切った画用紙に「ふわふわ言葉」を書いて貼り付けていきます。

その紙には、「ありがとう」「あそぼうよ」「だいじょうぶだよ」「字が上手だね」「野球うまいね」など、友だちから言われて嬉しかった言葉が書かれています。読んでいると心が温かくなります。

この取り組みも「楽しい学校」をめざしたものです。ご家庭でも、「ふわふわ言葉」を増やしてほしいと思います。

子どもたちが親に言われて嬉しい言葉は「ありがとう」だそうです。ありがとうという言葉が、学校の、家庭に、そして地域にしたいですね。

図書館へ行く

前号で「家読(うちどく)のすすめ」を紹介しました。その中に、「図書館に行こうデーをつくろう。」ということがありました。お子さんは、お父さんは、お母さんは市立図書館に行つたことがありますか。

図書館でたくさんの本と出会ふことのおもしろさを体験してみてください。土日に、お子さんと一緒に市立図書館へ行ってみましょう。

市立図書館を紹介します...

上野原市立図書館(リンデン・ドーム)は、市民の生涯学習とコミュニケーションの



拠点として平成三年に完成し、二階建てで、一階には児童閲覧室、ラウンジコーナー、AVコーナーや郷土資料コーナーがあり、二階には一般閲覧室があります。児童閲覧室には、子どもたちが大好きな本や絵本、紙芝居などがあり、お母さんのひざの上で本を読むことができます。フロアーも用意されています。その他として、河内成幸作の版画「華」や早川二三郎作の絵「白い町(コルドバ)」などの芸術作品も展示されています。

インフルエンザの流行が心配です

インフルエンザの流行が心配な時期になりました。学校でも手洗いやうがいをするように指導しています。お茶うがいも効

果があると言われていす。お茶の用意をお願いしす。せきやくしゃみが出るときは、マスクをするようにして下さい。また、バランスの良い食事をとることや十分な睡眠をとることは、病気になるため大切なことです。

幡野たいさん ベルマーク大使に

本校のベルマーク活動を支えてくださっている幡野たいさんが、「ベルマーク大使」に任命されました。

ベルマーク大使は、ベルマーク運動を広める活動をしす。幡野さんは、全国で選ばれた七人の大使の一人だそうです。ご活躍を期待するとともに、ベルマーク委員会を中心に全校で応援していきたいと思ひす。

幡野さんの活動の様子は、ベルマーク新聞でも紹介されました。ベルマーク教育助成財団のホームページでもご覧になれます。

ベルマークで ラジカセを購入

今年は今まで貯めたベルマークで、ラジカセを七台購入させていただき、各学年に一台ずつ配布しました。



写真は一月二十五日に幡野さんをお招きして行ったベルマーク委員会の児童との交流会の様子です。ベルマーク委員会の委員長が代表して、お礼の手紙を発表しました。保護者の皆様、これからもベルマーク委員会の活動に応援をよろしくお願ひしす。

学校評価アンケート 本年度も読書習慣が 課題です

本年度もPTA役員の皆様に学校評価のアンケートに答えていただきました。

全体としては、本校の教育活動や先生方の指導についてよい評価をいただきました。学習では「よい」という評価が昨年度よりも増えました。

基礎学力の充実のための「放課後チャレンジ」の実施や家庭学習にご協力いただいた結果と考えています。

放課後チャレンジについては、「子どものペースで学習することができ、すすんで学習に取り組めるようになった」という大変嬉しいご意見もいただきました。

昨年度の課題でもあった「読書習慣が身に付いているか」という問いに対しては、「身につけている」という評価が半分以下で、昨年度よりも若干マイナスの方向に進んでいす。読書活動の充実は本校の教育目標の一つで、読書は学力向上のための重要な取り組みと考えています。

学校では、朝読書にも取り組んでおり、子どもたちは図書館の本をよく借りている状況です。また、家読(うちどく)についても、すすんで紹介させていただひています。

もう一度、ご家庭での読書についてご検討下さい。家庭学習の自学に読書をすすんで取り入れていただきたいと思ひいます。また、お子さんが読書をするときは、保護者と一緒に願ひしす。



ケータイ・スマホ インターネット

保護者からスマホについてのご意見がありました。現在、ケータイやスマホ、インターネットで様々な問題が起きています。「メールの悪用やいじめ」「料金の使いすぎ」「有害サイトへのアクセス」「授業に集中できなくなる」などです。

年々、自分のケータイやスマホを持つ児童が増えていす。ケータイやスマホを与えるのは保護者です。お子さんがどのような使い方をしているかご存じですか。使い方の約束を決めていすでしょうか。夜遅くまでゲームをしていす子もいすようです。また、LINEによるトラブルも心配になります。

ペアレンタルコントロールという言葉があります。これはフィルタリングをした上で、保護者が子どもに「注意」「見守り」「指導」を繰り返すことです。

今後起こり得る様々な問題からお子さんを守るのも保護者の役目です。困っていることがありましたら、遠慮なくご相談下さい。



あしあと

雪が降りました。思ひのほか多く降って、二日間休校になりました。週末にはまた雪が降るよう心配です。



「させていただく」

この言葉は、本校のベルマーク活動を支えてくださった幡野たいさんの言葉です。ベルマーク大使に任命された時のインタビューで、五十年間続けているベルマークの仕事について、「してやっているんだ」といすのではなく、させていただくという気持ちです」と話されました。先日、PTAの役員選出に関わってボランティアという言葉が使われしました。役員の皆様には、お仕事のある中、またお忙しい中、PTA活動に取り組んでいただひいます。今後ともご理解とご協力をお願いしす。